

# 乳幼児期に気をつけたい主な病気

※お子様の体調が優れない場合は、早めに通院し、感染防止にご協力ください。

梅雲保育園

\* 名前のつく感染症（下表参照）は、診断後園に必ず園にご連絡ください。ご家族が罹った場合もお知らせください。

\* ○印の感染症は完治後に登園の際、登園届が必要です。医師の登園許可が出たら、玄関設置の用紙を保護者が記入し、必ず提出してください。

登園届の提出	流行する季節	◆印…予防接種がある感染症 → 流行する季節に注意し、接種時期になったらなるべく早く予防接種を受けましょう。 無印…予防接種がない感染症 → 流行する季節に差し掛かったら、しっかり手洗いをし、規則正しい生活を心がけるなど、徹底した予防対策が大切です。									
		病名	潜伏期間	感染経路	主症状			登園停止期間（目安）	再感染	備考	
					発熱	発疹	その他の症状				
○	冬～春	◆インフルエンザ	1～5日	飛沫接触	38～39℃の高熱		咽頭痛・頭痛・咳 乳児は嘔吐・下痢も	発症日を0日目として 5日経過、かつ、 解熱後3日経過	有	暖かくして安静 温かい飲み物と消化の良い食事	
○	春～夏	◆麻疹（はしか）	10～12日	飛沫接触 空気	38℃以上の高熱	鮮紅色の小紅斑から融合し、次第に色素沈着	くしゃみ・鼻水・咳・ 結膜充血・ コプリック斑	解熱後3日を経過	無	高熱と熱性けいれんに注意 安静・保湿で大事に療養	
○	春～夏	◆流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	14～21日	飛沫接触	38℃前後の高熱		耳下腺・顎下腺が腫れ、痛がる	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、全身状態が良好になるまで	無	顎下痛があるので食事はのどごしがよく柔らかいものを	
○	春～夏	◆風しん	14～21日	飛沫接触	発疹と共に軽度の発熱	麻疹様の薄い発赤疹	リンパ節腫脹	発疹消退まで	無	未罹患で妊娠初期の場合は注意（胎児に影響する）	
○	冬～夏	◆水痘（水ぼうそう）	10～20日	飛沫接触	発疹とほぼ同時に38℃前後の高熱	発赤丘疹、水疱、膿疱、痂皮（かさぶた）が混在	発疹が数日間次々と現れる	すべての発疹がかさぶたになるまで	無	爪を短くして掻かせない 肌を清潔に（シャワー可）	
○	冬～初夏	溶連菌感染症	2～5日	飛沫接触	39℃前後の高熱	発疹後、全身に鮮紅色の細かい小丘疹が広がる	扁桃発赤・腫脹・咽頭痛・イチゴ舌・回復期の皮膚落屑	抗生物質内服後、 <u>24～48時間を経過するまで</u>	有	家庭での隔離のもとにきちんと治療し静養	
○	晩夏～初春	RSウイルス感染症	2～8日	飛沫接触	38～39℃の高熱		咳・鼻水・喘鳴・呼吸困難	呼吸症状が消失し、全身状態がよくなるまで	有	よく手を洗う	
○	夏	手足口病	3～4日	飛沫接触 経口	出ることもある	手、足、口、股間などに水疱疹	風邪のような症状 口内炎が酷く食事がとれないことも	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれるようになるまで	有	口内炎があれば食事は低刺激で高カロリーなものを	
○	夏	ヘルパンギーナ	2～4日	飛沫接触 経口	38～39℃の高熱		咽頭痛 喉に小さな水疱疹	解熱後2日以上経過し普段の食事ができるようになるまで	有	喉や口内の痛みが強い時は噛まずに飲み込める食事にする 脱水症状に気をつける	
○	夏	咽頭結膜熱（プール熱）	5～7日	飛沫接触	39℃前後の高熱・咽頭炎		咽頭痛・結膜充血 目やに リンパ節の腫れ	主症状が消失後2日経過するまで。	有	アデノウイルスによる感染症 眼科治療はきちんと行う 目やに・便からも感染する	
○	年中	伝染性紅斑（りんご病）	10～20日	飛沫	発熱は軽い	頬が赤くなる、手足に網目模様の紅斑	1～3日間38℃台の発熱 数日後の紅斑出現	発疹時には感染力はないので、食事が普通に摂れ、元気であれば登園可能	無	子どもには心配ない病気 未罹患の妊婦はまれに流産	
○	冬	マイコプラズマ肺炎	14～21日	飛沫	高熱		乾性の激しい咳	解熱し、激しい咳が治るまで	有	家庭での隔離のもとにきちんと治療し静養	
○	年中（夏）	流行性角結膜炎（はやり目）	8～14日	接触	出ることもある	まぶたの裏にプツプツが出来、違和感	白目が充血・目やに 耳前リンパ節が腫れることも	完全治癒まで（医師が感染の恐れがないと認めるまで）	有	目を触らない・タオルなど共用しない	
○	年中	急性出血性結膜炎	1～3日	接触			眼のごろごろ感や充血 まぶたの腫れ 白目が非常に赤くなる	完全治癒まで（医師が感染の恐れがないと認めるまで）	有	目を触らない・タオルなど共用しない 大人間で流行しやすい	
○	年中 ※秋～冬	ウイルス性胃腸炎（ノロ・◆ロタ・アデノウイルス等）	1～3日	経口 接触 食品媒介			嘔吐や下痢が治まり24時間経過し、 <u>普段の食事が摂れるようになるまで</u>	嘔吐や下痢が治まり24時間経過し、普段の食事が摂れるようになるまで	有	水分補給（少量ずつ） 脱水症に注意 温かく消化の良いものを少しずつ暖かくして安静	
○	年中	突発性発疹	約10日	飛沫 経口 接触	39℃前後の熱が3日くらい続く	解熱と同時に体幹に風疹様紅斑	下痢を伴うこともある	解熱後1日以上経過し全身状態がよくなるまで	有	発疹が出れば一安心 発疹が褐色化するまで静養	
×	年中（夏）	水いぼ	2～7週間	患部との接触		半球状の小豆前後の大きさで多発することが多い	体幹・脇・股間などに好発	衣服から出る部位は覆う	有	放っておくと全身に広がるので、数が少ないうちに皮膚科で適切な治療・処置をする	
×	年中（夏）	伝染性膿痂疹（とびひ）	2～10日	患部を触った手で触れる		①水疱性のもの ②かさぶた性のもの	①水疱が破れただれる ②厚いかさぶた	かさぶたになり、すっかり乾燥するか、衣服から出る部位は覆う	有	原因＝かき傷などに細菌が入り込む 皮膚科を受診（塗り薬、飲み薬） 爪を短くしてかかせない 肌を清潔に	
×	年中（夏）	アタマジラミ		頭髪接触 タオル共用			頭のかゆみ・不快感 症状がないことも多い	2日おきに3回駆除シャンプー 頭髪に成虫・卵が認められない	有	布団・シーツ・枕カバー・衣服は毎日洗濯、日光に当て干す アイロン、湯（60℃）に5分も効果的	
×	年中（冬）	急性中耳炎		風邪と併発	出ることもある		耳痛・耳だれ 粘っこい黄緑色の鼻水	熱・多量の耳だれ・風邪症状がなく、機嫌がよければ登園可能	有	予防は「かぜを長引かせない」 「鼻汁や鼻づまりを治療」「鼻を強くかまない」「鼻をすすらない」	

流行時期について ◎「年中」・・・通年発症がみられるが、（ ）内の季節がピーク期

◎感染性胃腸炎・・・ノロウイルス（11月～1月） ◆ロタウイルス（3月～5月） 食品媒介は通年

上表以外で登園届の提出が必要な病気	新型コロナウイルス感染症（登園停止期間…発症日を0日目として5日経過し、且つ、症状が軽快した後1日経過） ◆髄膜炎菌性髄膜炎 ◆百日咳 結核 腸管出血性大腸菌感染症(O-157など) 帯状疱疹
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------